



## はじめに

1980年代にクローズアップされた「不登校」。その「問題」は専門家と言われる人々が様々な立場から発言され、その解決をめぐる処方箋も書かれてきました。しかし、現在もその数は増え続けています。その上、「発達障害」や「いじめ」、そして、「児童虐待」や「貧困」などと絡み合い、「問題」深刻度は増しています。

この度私達はこの「不登校」という「問題」を深刻に考えるのでなく、生徒と共に日頃の「授業」（「わくわく福祉ゼミ」）を公開するという形で、その「問題」性に迫りたいと考えました。この授業の特徴のひとつは、生徒と教師が「遊びのワークショップ（けん玉・皿回し）」を楽しみながらコミュニケーションを築き、信頼関係をつくることにあります。ふたつ目は福祉体験や社会的活動の体験を取り入れたことです。

「授業」を通して、生徒たちは自信を取りもどし、自己の体験をふり返り、社会や教育のあり方について自由に語りはじめたのです。専門家ではなく当事者である生徒たちが「パネルディスカッション」を企画しました。「普通」ではない(?)高校での体験を基に、テーマを「普通ってなんだろう?」「普通って苦しくない?」にしました。ノンフィクション作家・柳田邦男氏は著書「壊れる日本人 ケータイ・ネット依存症への告別」で、現代社会の病理を分析しながら、「『普通』は『異常』の時代」と警鐘を鳴らす。事件後「犯人は『普通の家庭』の『普通の子』だった!」というように。設定したテーマは「不登校」を考えるだけのテーマではなく、まさに現代性に迫るものです。

つたない試みではありますが、子育て関係者のみならず一般市民の多くの方々の参加をお待ちしております。

わくわく福祉ゼミ 講師 早川 たかし

## パネリスト・コメンテーター・講師紹介



**せぎちゃん 高校3年生**

福祉ゼミの長。1年生からずっと受講している。中学2年の秋から不登校に。学校の先生が無理に連れて行こうとしたのが嫌で仕方がなかった。趣味は鉄道の写真を撮ること。



**横山 泰行**

1942年岐阜県羽島市生まれ。富山大学で、生涯スポーツ論を教える。99年よりドラえもん学を提唱。著書に「ドラえもんの『育て方』」「『のび太』という生き方」などがある。



**はっしー 高校3年生**

1年後期から福祉ゼミを受講。中学1年の秋から不登校に。「人に会うのが嫌になったから」。趣味はまんが・アニメ鑑賞。特撮もの（特に仮面ライダー）が好き。



**YOUTA(ユータ)**

盲目のピアニスト。生まれつき無類の音楽好きでキーボードをおもちゃ代わりに遊んでいた。2007年に武蔵野音大を卒業し、音楽家としての活動を開始。



**トッキー 高校3年生**

生徒会長。3年前期から福祉ゼミを受講。小学4年生のときから不登校に。理由は「学校に行くのが嫌だった」から。高校では3年間皆勤、週5日登校をする。趣味はナンプレ



**早川 たかし**

1951年富山市生まれ。日本福祉大学卒業後、特殊学級、養護学校で障害児教育に携わり、2004年NPO法人「富山・イタズラ村・子ども遊ばせ隊」設立。

## 参加申込書

|    |   |     |  |
|----|---|-----|--|
| 氏名 |   | 所属  |  |
| 住所 | 〒 |     |  |
| 電話 |   | メール |  |

▲ Fax (076-443-8669) またはお電話 (076-443-8668) でお申込みください。